

国語科学習指導案

第5学年 指導者 鶴見 克巳

1 単元名 世界でいちばんやかましい音

2 単元目標

- ・ 物語を、興味をもって読み、構成をとらえようとする。(国語への関心・意欲・態度)
- ・ 物語の基本的な構成をとらえ、場面の展開に即して人物の変化を読み取ることができる。
(読む能力)
- ・ 物語のおもしろさについて、相手に伝わるように整理して書いている。(書く能力)

3 単元について

本教材では、物語の基本的な構成である「設定」「展開」「山場」「結末」を理解し、物語全体がどのような構成で描かれているのかをとらえる力をつけることをねらいとしている。

児童は、これまでに時、場所、人物を手がかりに場面をとらえる経験をしている。中心人物の気持ちが大きく変わっている場面を選び、「どのように」「どうして」変わったのかを読み取る学習を行ってきている。その学習の上に立ち、物語には、基本的な構成があることを知り、物語全体の中で、「誰」もしくは「何」が変わったのか、その根拠となる出来事や思いは何なのかを読み取らせることが大切である。そのことが主題につながっていくと考えられる。また、物語の構成だけでなく、物語の展開を盛り上げていく優れた叙述にも着目することで、想像を豊かにしながら読む力を高めるとともに、語感や言葉の使い方に対する感覚を養うことができる。

以上のことから、物語の読み方の基礎・基本となる学習として本題材を設定した。

本学級は、男子5名、女子12名、計17名である。これまでに、4年次の「走れ」において中心となる人物をとらえ、その変容を読み取る学習や、「ごんぎつね」において、場面の移り変わりを読み取り、人物の関係や気持ちの変化を読み取る学習をしてきた。そのことにより、内容の深い話し合いができるようになってきており、話し合いも活発になりつつある。しかし、友達と比較して違いを明確にしたり、意見を交換しながら深め合ったりするところまでには至っていない。

本単元では、「リーフレット作り」を通して、物語の構成や中心人物の気持ちの変化をとらえて読む力を身につけさせたい。そのことで、学習したことを観点に沿ってまとめ直すことにより、視点をもって読む力を確かなものにしたい。その際、ねらいにある物語の構成は必ず入れてまとめさせたい。また、お互いの考えを聞き合う楽しさを味わわせることにより、進んで話し合う態度を育てていきたい。

4 研究主題との関連

本単元では、研究主題『自ら考え、意欲的に学び合う児童の育成ーICTの効果的な活用を通してー』に向けて、以下の点から迫ることとする。

(1)「自ら考える」ために

本単元では、既習事項を活用できるように環境を整備し、それをもとに自分の考えがもてるようさせる。また、既習事項をもとにすることで、自信をもって自分の考えを発表できるようにさせたい。

(2)「意欲的に学び合う」ために

本単元では、協働学習を取り入れ、児童同士で意見交換をしたり統合・分類したりさせる。そのことで、物語の基本的な構成や人物の変化を読み取らせたり、物語のおもしろさについて、相手に伝わるよう整理してリーフレットにまとめさせたりするようにしたい。

① 情報を基に見通しをもって学習するための工夫

授業の導入において、板書を投影しこれまでの学習を振り返らせることで、児童の興味関心を高める学習課題の提示をしていく。

② 情報を基に自分の考えがもてるための工夫

黒板をデジタル化し、意見交換、発表の内容を統合していく活動を通して、物語の基本的な構成や人物の変化を読み取らせたり、物語のおもしろさについて、相手に伝わるよう整理してまとめさせたりする。

これらの手立てにより、本校の研究主題に迫りたいと考えた。

次	時	ねらい	主な学習活動・内容	学習活動における評価規準 (下線は十分満足できる状況)
1	1	教材のねらいを確かめ、構成に注意して物語を読んで感想を交流することができる。	○物語を読んで大まかな内容をつかみ、感想を交流する。	関 物語の中で心に残ったことや不思議に思ったことを見つけ、 <u>進んで</u> 感想をまとめ発表しようとする。
2	2	物語の基本構成を知り、「設定」「展開」「山場」「結末」について理解することができる。	○物語がどのように四つの部分に分けられるか考える。	読 物語のおもしろさを感じながら <u>読み</u> 、基本的な構成を知り、場面を考えながら、四つの部分に分けている。
	3	王子様と王様の人柄についてまとめることができる。	○王子様と王様の人柄について、「好きなこと」「考え方」「性格」などの観点からまとめる。	読 物語のおもしろさを感じながら、各々の人柄を、年齢、好きなこと、考え方、性格について触れながらまとめている。
	4	王子様の気持ちの変化をとらえることができる。	○「山場」でどのように変わったか、また、それはなぜなのかを考える。 ○町の様子の変化について「設定」「結末」を対比して考える。	読 物語の展開に即して王子様の変化やその理由を読み取り、 <u>そのおもしろさをとらえ</u> 、話し合いを通して考えを深めている。
	5	物語の表現の工夫やおもしろさを読み取ることができる。	○作者の表現の工夫をまとめる。	読 表現の工夫やおもしろさを <u>多種</u> 見つけ、 <u>きちんと</u> まとめている。
	6 本時	友達の意見を聞きながら、読みを深めることができる。	○前時で出された一人一人の考えを、全体で統合・分類する。 ○統合・分類したグループ毎に意見交換する。	読 物語の中での表現の工夫やおもしろさについて、友達に <u>分かりやすく</u> 理由を交えながら伝えている。
3	7 8	物語を紹介するリーフレットをまとめることができる。	○学習したことをもとに、載せる観点を決めてまとめる。 ○友達の作品の良さを付箋紙に書いて貼り、交流する。	書 <u>自分が見つけた表現の工夫や物語のおもしろさについて</u> 、相手に伝えるように整理して書いている。

6 本時の指導

- (1) 題目 友達の意見を聞きながら、読みを深めよう。
- (2) 本時の目標
 - ・物語の中で表現の工夫やおもしろさについて、読みを深めることができる。(読むこと)
- (3) 授業の観点
 - ・黒板をデジタル化し、意見交換や発表の内容を統合していく活動は、表現の工夫やおもしろさについて読みを深める上で、有効な取り組みとなったか。

具体目標	学 習 活 動	学習活動への支援・評価	資料・準備
・本時の学習課題を確認することができる。 ・考えを整理・分類する中で読みを深めることができる。 ・自分の考えを発表することができる。	1 前時までの学習の確認をし、本時の学習課題をつかむ。 物語の中での表現の工夫やおもしろさについて、詳しく読み取ろう。 2 物語の中での面白い構成や表現について話し合う。 (1) 全体で考えを統合・分類する。 ・王子様や王様の人柄、心の動き ・おくさんの思いつき ・擬態語 など (2) グループで話し合う。 2(1)で統合・分類したグループになり発表し合う。	・本時の学習課題を伝え、どのような学習をするか見通しをもたせ、意欲を高めさせる。 ・自分と同じ考えがあることに気づかせたり、新しい発見をさせたりすることで、読みを深められるようにする。 ☆児童の考えを基に、意見交換したり、統合・分類したりする。(電子黒板上で) ・おもしろい構成や表現について伝えられない児童には、前時にまとめた自分の考えを基に、言葉を整理させ、伝えられるようにする。	プロジェクター プロジェクター プロジェクター
《評価》 物語の中での表現の工夫やおもしろさについて、友達に理由を交えながら伝えている 【読む能力】(発言・観察) <概ね満足な状況> ・物語の中での表現の工夫やおもしろさについて、友達に理由を交えながら伝えている。 <十分満足な状況> ・物語の中での表現の工夫やおもしろさについて、友達に分かりやすく理由を交えながら伝えている。 <努力を要する児童への支援や手立て> ・おもしろい構成や表現について伝えられない児童には、前時にまとめた自分の考えを基に、言葉を整理させ、説明できるようにする。			
・友達の発表を聞いて読みを深めることができる。 ・本時の内容を振り返るとともに、次時の内容を知ることができる。	(3) 全体で発表し、考えを整理する。  3 本時のまとめをし、次時の学習内容を聞く。 (1) 振り返りをする。 (2) 次時の学習内容を聞く。	・自分と同じ考えがあることに気づかせたり、新しい発見をさせたりすることで、読みを深められるようにする。 ◎友達の意見が自分と異なっても尊重しながら、発表を聞けるようにする。 ※互いのよさを尊重し、認め合いながら活動に取り組めるよう支援する。 ・本時の振り返りをするとともに、次回はリーフレットを作ることを伝え、意欲をもたせるようにする。	プロジェクター プロジェクター